

精神医学 I

担当教員 肥後 成美

配当年次 3年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 第1学期

授業形態 講義

単位数 2

【授業のねらい】

脳の基本構造を把握し、個々の部位の総合作用として我々の精神が発動しているということを学ぶ。脳の構造と機能を結びつけることで、精神障害の病態像、治療法などに対するより深い理解力を育むことができ、そのことが障害を持つ人たちと接する医療者としての適格な人間形成にも繋がると考える。特定の教科書に沿った説明はせず、講義内容・配布資料を積み重ねることで一冊の新しい教科書（ダイジェスト版）が完成するような内容を目指す。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	精神医学の神経科学的基礎（脳の巨視的構造）
2	精神医学の神経科学的基礎（脳機能に対する概念の歴史の変遷）
3	精神医学の神経科学的基礎（神経細胞の形態学的、生理学的特徴）
4	精神医学の神経科学的基礎（大脳皮質の働き）
5	精神医学の神経科学的基礎（前頭葉、分離脳）
6	精神医学総論（精神医学の歴史）
7	精神医学総論（精神障害における症状）
8	精神医学総論（精神障害における症状）
9	高次脳機能障害（失語、失行、失認）
10	高次脳機能障害（前頭葉症候群、側頭葉症候群）
11	器質性精神障害（大脳皮質の変性疾患による認知症、脳血管性認知症）
12	器質性精神障害（大脳基底核の変性疾患、脳の感染症、東部外傷）
13	器質性精神障害（中毒、脳腫瘍、正常圧水頭症）
14	身体疾患に基づく精神障害（代謝障害、膠原病、内分泌疾患）
15	身体因精神病（てんかん）

【履修上の注意事項】

耳慣れない専門用語を受け入れるためにも、毎講義後の復習や次回講義内容の予習が要求されます。特に授業後の

毎回の復習を積み上げる

ことが全体の理解に繋がります。毎回の授業の始めに、前回の内容についての質問を行うことで、理解度を確認している。

【評価方法】

期末試験の成績で判断する

【テキスト】

講義で使用したスライドと同じ内容のプリント資料を配布する。講義終了時にはこれが教科書となると思う。よって、教科書を指定することはせず参考文献のみを挙げる。

【参考文献】

「精神医学テキスト」上島国利・立山萬里/編集、南江堂、「標準精神医学」野村総一郎他/編集、医学書院